

サクラの開花日・カエデの紅葉日共同調査

～市民ボランティアとの協力で地球温暖化を調査～

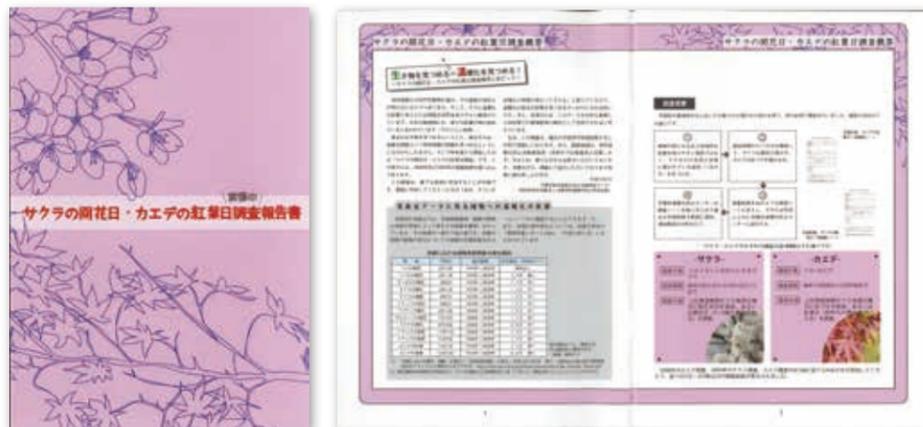
活動の概要

春にソメイヨシノの開花調査を、秋にはカエデの紅葉調査を行っています。調査は一般の方や高校生でもできるように、ソメイヨシノの開花日やカエデの紅葉日の前に、事前講演を行ったり、植物園での事前学習を実施したりしています。調査した結果は、京都府地球温暖化防止活動推進センターがインターネットや郵送で回収し増田研究室へ提供します。データの入力や解析を行い、その結果を公表しています。

これまでの成果

1. 報告書の発行

これまでの調査結果を「京都のサクラの開花日・カエデの紅葉日調査報告書」にまとめ、行政や気象予報士に配布しています。「京都のサクラの開花日・カエデの紅葉日調査報告書」やサクラ開花・カエデ紅葉の調査は京都府地球温暖化防止活動推進センターのWEBサイトで見るができます。



京都のサクラの開花日・カエデの紅葉日調査報告書
WEBサイト <http://www.kcfca.or.jp/jigyuu/info/sakura-kaede.html>

2. 報道による研究成果の公表

これらの活動は、読売新聞（2008年11月20日付夕刊）やNHK（おはよう関西＜2008年11月26日放送＞、ニュースウォッチ9＜2013年11月15日放送＞）、NHKラジオ（2010年11月28日放送）ほか、朝日新聞（2013年3月19日、同年9月2日）や京都新聞（2012年11月5日付夕刊）に、桜や紅葉から見る温暖化をテーマとして報道されました。



京都府地球温暖化防止活動推進センターとの研究調査を伝える朝日新聞
(左：2012年11月10日付朝刊、右：2013年3月19日付朝刊)

活動団体情報

代表者
増田 啓子（経済学部教授） 専門分野：環境気候学

連絡先
keiko@econ.ryukoku.ac.jp

活動開始時期
2008年秋から

主な連携メンバー
京都府地球温暖化防止活動推進センター

主な活動地域
京都府を中心とした近畿圏内

今後の目標・課題

現在は開花日、紅葉日前後の期間に多くの方に調査をしてもらっていますが、6年間の調査結果から将来的には定点観測できる標準木を設定し、京都府域のサクラとカエデ（モミジ）の生物季節観測地点での継続観測を実施する計画です。



サクラの調査結果



市民参加による2011年の京都府域の紅葉分布



カエデの調査結果